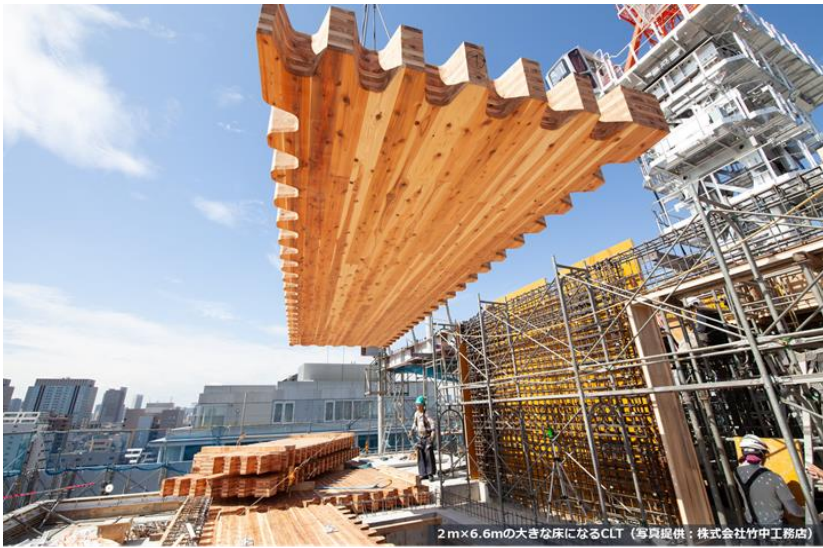


中高層建築の木造化・木質化



2m×6.6mの大きな床になるCLT (写真提供：株式会社竹中工務店)

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



FLATS WOODS 木場 (写真提供：株式会社竹中工務店)



FLATS WOODS 木場 (写真提供：株式会社竹中工務店)

皆さんは「木のビル」をご存じですか？

これまで耐火性などの問題から、木造の中高層建築は難しいと言われてきました。しかし、近年では耐火部材やCLTといった技術開発が進み、木と鉄筋コンクリートを組み合わせた12階建て共同住宅「FLATS WOODS 木場」（株式会社竹中工務店）など、中高層建築の木造化・木質化の取組が増えています。入居前に見学の機会をいただいたのですが、内装にも木材が使われ、心地よい空間が広がっていました。

では、なぜ木造化・木質化を進めているのでしょうか？木材は製造時のCO2排出量が少なく、木材自体が炭素を蓄えるため、木造建築は地球温暖化防止に役立ちます。また、木材は軽量なので、コスト縮減や工期短縮の可能性があります。そして、このような技術開発の推進や地球温暖化防止はSDGsの目標にも繋がります。

期待が高まる木造建築の今後にぜひご注目ください。

